

ローカルな気圧観測ネットワークによる地震帯域における重力への気圧の影響の補正

Correction of atmospheric effect on gravity at seismic frequencies with a local barometric observation network

今西 祐一 [1]

Yuichi Imanishi[1]

[1] 東大・海洋研

[1] ORI, Univ. of Tokyo

大気は、その質量による引力と荷重による土地の変形を通して、重力の精密観測に重大な影響を及ぼす。この効果は、大気圧の2次元（あるいは3次元）的な分布に依存するので、補正することが難しい。とくに、グローバルな大気モデルの時間空間分解能に制約があることもあり、地震帯域における大気の影響の補正は従来ほとんど試みられていない。

私たちは、潮汐より長い周期帯における重力に対する気圧効果のモデリングを改善するため、長野県松代の超伝導重力計観測点の周辺に気圧観測点を配置し、ローカルな気圧観測ネットワークを構築した。ここでは、このネットワークの記録を用い、とくに地球自由振動の長周期モードが存在する帯域に着目して、気圧ノイズの低減を試みる。